

# 事業報告

平成19年4月 1日から  
平成20年3月31日まで

## 1. 事業経過と成果

当期のわが国経済は、設備投資の増加や輸出が堅調に推移したことから、緩やかな景気回復が続きましたが、年度後半は原油価格の高騰に加え、サブプライムローン問題に端を発する米国経済の下振れリスクの増加等から、景気の減速懸念が強まってきました。

このような情勢のもと、当社は各事業部門において収入の増大に向けた積極的取組みによる業容拡大および効率的な業務処理に努めた結果、所期以上の業績を挙げることができました。

まず、油リサイクル事業につきましては、原油価格高騰の影響で廃油排出量が減少する一方で、再生重油の価値の高まりを背景に、顧客獲得競争が一段と熾烈化しました。この対応として、顧客サービスの向上および適正処理をこれまで以上に推進して同業他社との差別化に努めたほか、廃油の買取も開始しましたが、廃油収集量は予算比 98%の 5,666KL となり、前年度に比べ 102KL 減少しました。

一方販売面では、愛媛県廃棄物処理センター向けリサイクルオイルAの販売量が減少したため、総販売量は 7,799KL となり、前年度に比べ 326KL の減少となりました。しかし、L S A 重油購入費用、廃油収集費用増加に伴う製造原価の上昇分を販売価格に上乘せすることについて顧客のご理解に努めました結果、売上高は 379,660 千円で前年度を 28,063 千円上回りました。

焼却事業につきましては、安定処理体制の下、ダイオキシンをはじめ諸環境規制をクリアした安定操業を続けました。平成19年度から岩鍋灰処分場を住友共同電力㈱に移管したため焼却灰を他社最終処分場に委託せざるを得なくなり、経営環境は厳しくなりましたが、営業努力により受入量は 3,012T で前年度に比べて 584T の増加となり、売上高は 93,433 千円で前年度を 10,053 千円上回りました。

灰処分事業につきましては、住友共同電力㈱西火力発電所3号機が下期から稼働を開始し、有効利用が 165,879T で前年度に比べ 13,227T 増加し、岩鍋処分量も 82,948T で前年度に比べ 11,484T 増加しました。灰処分場の操業およびデリバリーを担当する当社では、処分場での効率的操業、有効利用灰運搬の迅速・確実・効率的なマネジメントによりコストダウンに努めました。

燃料・用役管理事業につきましては、西火力発電所3号機試運転において、揚送炭設備・脱硫石灰・石膏の搬出入設備を担当しながら、営業運転に移行後の三火力発電所を含めた効率的運用体制の確立に努めました。また、既設火力においては廉価炭他の多炭種化やバイオマス混焼拡大への対応、更には創意工夫により設備運用の効率化・省力化を進め、各火力発電所の燃料費削減と安定操業に努めました。

環境整備事業につきましては、協力会社とのコミュニケーションを密にして、諸受託業務の品質向上、効率化に努めました。

このほか、木くず・紙くずをチップ化するバイオマス事業を平成20年4月開始することとし、平成19年12月に生活環境影響調査を実施して、各種許認可手続き、機器設置工事、検査を最短期で進めました。

以上から当期業績は、再生重油販売料の増加や西火力3号機の稼働開始に伴う石炭、石炭灰等の取扱量増加がありましたことから、当期売上高は 1,119,720 千円で前年度に比べて 36,672 千円の増加となり、全社を挙げて諸経費の圧縮削減に取り組みました結果、税引前利益 51,404 千円を計上することができました。

平成20年度はバイオマス事業が加わり事業環境が変化しますが、各事業部門において強みを更にグレードアップさせるとともに、コンプライアンス経営、CSR経営を基本にして、社会的要請のある資源リサイクルをはじめとした環境サービスビジネスに全社挙げて積極的に取り組む所存でありますので、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 貸 借 対 照 表

(平成20年 3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
流動資産	306,542	流動負債	178,566
現金及び預金	61,281	買掛金	54,073
受取手形	5,587	未払金	36,238
売掛金	130,236	未払法人税等	2,433
製品	1,739	未払費用	73,650
貯蔵品	2,161	賞与引当金	8,213
未収入金	186	雑流動負債	3,956
繰延税金資産	5,727		
雑流動資産	100,155	負債合計	178,566
貸倒引当金(貸方)	532		
固定資産	129,729	<b>(純資産の部)</b>	
有形固定資産	118,306	株主資本	257,705
建物	6,981	資本金	20,000
構築物	7,511	利益剰余金	237,705
機械及び装置	54,670	その他利益剰余金	237,705
車両運搬具	6,585	繰越利益剰余金	237,705
工具器具備品	3,536		
建設仮勘定	39,020	純資産合計	257,705
無形固定資産	10,736		
電気設備利用権	5,048		
ソフトウェア	5,504		
電話加入権	183		
投資その他の資産	685		
出資金	110		
繰延税金資産	575		
<b>資産合計</b>	<b>436,272</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>436,272</b>

(注) 記載金額は千円未満を切り捨て表示している。

損 益 計 算 書

平成19年 4月 1日から

平成20年 3月31日まで

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		1,119,720
売 上 原 価		991,692
売 上 総 利 益		128,028
一 般 管 理 費		81,536
営 業 利 益		46,491
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	952	
雑 収 益	3,996	4,948
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	18	
雑 損 失	16	34
経 常 利 益		51,404
税 引 前 当 期 純 利 益		51,404
法人税、住民税及び事業税		17,709
法 人 税 等 調 整 額		3,065
当 期 純 利 益		30,630

(注) 記載金額は千円未満を切り捨て表示している。

## 株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

平成19年 4月 1日から

平成20年 3月31日まで

(単位：千円)

	株 主 資 本				純資産合計
	資本金	利 益 剰 余 金		株主資本合計	
		その他利益剰余金	利益剰余金合計		
		繰越利益剰余金			
平成19年3月31日残高	20,000	207,075	207,075	227,075	227,075
当期変動額					
当期純利益		30,630	30,630	30,630	30,630
当期変動額合計	0	30,630	30,630	30,630	30,630
当期末残高	20,000	237,705	237,705	257,705	257,705

(注) 記載金額は千円未満を切り捨て表示している。